

各 位

2025 年 11 月 20 日
株式会社インプレス

ネットワークの全体像・基礎知識がこれ 1 冊で理解できる入門書
『図解でスッカリ ネットワークのきほんとしくみ』
11 月 20 日（木）発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、新米エンジニアが押さえておきたい基礎知識を図解でわかりやすく解説する書籍『図解でスッカリ ネットワークのきほんとしくみ』を2025年11月20日（木）に発売いたします。



■ITの基礎となるネットワークの仕組みをやさしく、体系的に理解できる1冊

インターネットをはじめ、あらゆるITサービスの土台にある「ネットワーク」は、エンジニアにとって欠かせない知識です。しかし、仕組みが複雑で専門用語も多く、最初につまづきやすい分野でもあります。

本書は、これからネットワークを学ぶ初学者に向けて、LAN・WAN・インターネットのつながりや、OSI参照モデル、IPアドレス、ルーティングなどの基本を、豊富な図解とともにわかりやすく整理しました。

スイッチングハブやLANケーブル、光ファイバーなど、実際の機材の仕組みや信号の流れも図で丁寧に解説しているため、目に見えにくいネットワークの動きを「実感」として理解できます。複雑に見える通信の流れについても、OSI参照モデルの各層ごとに章を分けて丁寧に解説しているため、初学者に理解しやすい「全体像から順に理解できる」やさしい構成となっていることも特長です。

さらに、DNSやHTTP、TLS、VPNなど、実務で頻出する用語も丁寧にカバー。資格学習や日々の業務の基礎固めにも役立つ内容となっています。

■図解でスッキリ理解できる誌面構成、通信の仕組みを直感的に理解

本書は、ネットワークの基礎からインターネット通信、セキュリティ、クラウド連携までを体系的に解説した入門書です。1テーマごとに「左ページ＝解説」「右ページ＝図解」で展開し、ページを開いた瞬間に「仕組みがイメージしやすい」紙面を実現しています。

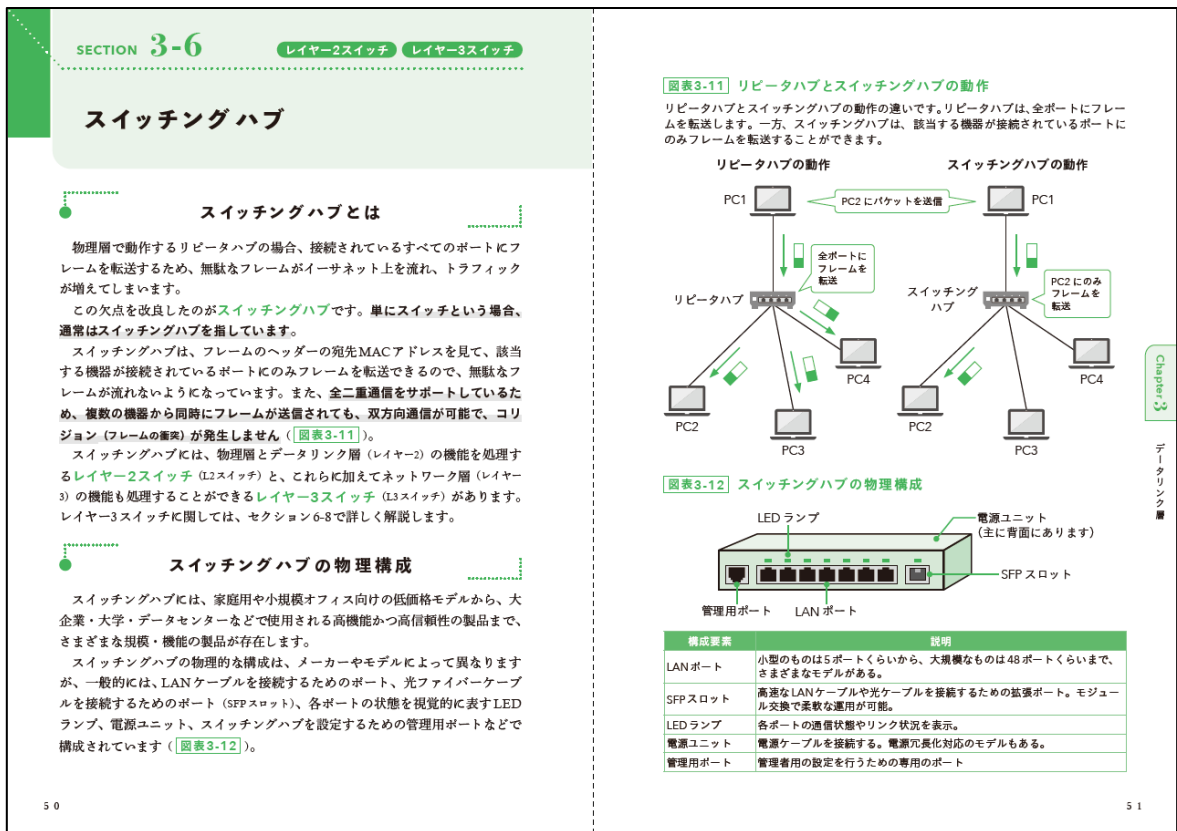
1つのテーマを見開きで完結させ、どのページからでも読みやすい構成としました。図と本文を行き来しながら理解を深められるよう、要点をまとめた「POINT」や実務で役立つ「MEMO」、会話による補足解説なども随所に配置。専門用語に苦手意識のある読者でも無理なく読み進められます。

ネットワークの全体像をスッキリ理解したい方、実務や資格学習の基礎固めをしたい方にも最適な1冊です。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ IT 業界に入ったばかりの新入社員の方
- ・ ネットワークを初めて学ぶ新米エンジニア
- ・ 異動や転職でネットワークの知識が必要になった方
- ・ IT インフラや通信の基礎を整理して再確認したいエンジニア
- ・ ケーブルやハブなどの機材を理解しながら、仕組みを学びたい学生・初学者の方

■紙面イメージ



1つのテーマを見開きで簡潔に解説。図解も大きく仕組みが理解しやすい。

無線LANの基本

無線LANとは

無線LANは、有線ケーブルを使わずに電波を介してネットワークを構築する技術です。無線LANを導入することで、ケーブルを配線する必要がなくなり、ノートPCやスマートフォンなどを自由に動かして通信できます。

一方で、電波の干渉であったり、セキュリティ対策の必要性など、有線LANにはなかった考慮事項も存在します。

無線LAN環境を構成する機器は、PCに加えて、主に以下機器で構成されます。

- ・無線LANアダプタ：最近のノートPCでは内蔵型がほとんどですが、外付けタイプもあります。アクセスポイントと電波での通信を行います。
- ・アクセスポイント（AP）：PCと、無線の電波を使って通信をする装置です。有線ネットワークと無線ネットワークを相互に接続する役割も持ちます。
- ・無線LANコントローラ：大規模ネットワークでは、多数のAPを集中管理したり、チャネルの調整などをするために導入します。
- ・認証サーバー（RADIUS）：セキュリティ機能を高める場合、ユーザ認証をするためのサーバーです。

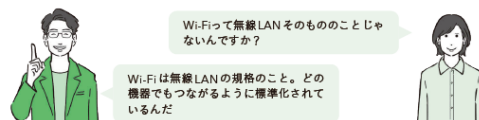
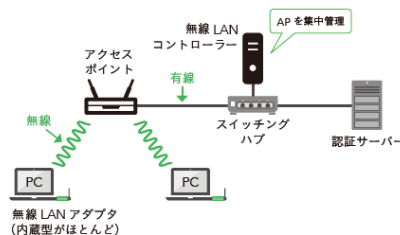
無線LANに関する用語

- ・Wi-Fi(Wireless Fidelity)：無線LANの相互通信性を確保するための無線LANの規格です。業界団体のWi-Fiアライアンスが定めたテストをパスした機器は、異メーカーや異機種間であっても相互接続がスムーズに行えます。
- ・SSID(Service Set Identifier)：複数の電波が飛び交う無線の空間にて、無線LANを識別するためのID(文字列)です。SSIDで複数のネットワークを分離します。
- ・PoE(Power over Ethernet)：言葉の通りLAN(Ethernet)ケーブルの上(over)で電力(Power)を供給する仕組みです。LANケーブルを使って電力も供給すれば、電源ケーブルを準備する必要がありません。

200

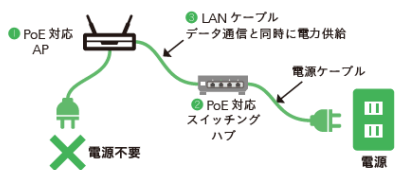
図表11-1 無線LANを構成する機器

大規模向けになると無線LANコントローラを設置し、セキュリティを高めてエンタープライズモード(セクション11-5で解説)で利用する場合には認証サーバーが必要です。



図表11-2 PoEを活用した構成

多くの場合、PoEに対応したスイッチングハブ(●)とPoEに対応したAP(●)を、カテゴリ5e以上のLANケーブル(●)で接続して、電力を供給します。



201

図内や欄外に会話形式の補足を配置し、難しい専門用語も理解しやすい。

■本書の構成

Chapter 1	ネットワークの基礎知識
Chapter 2	物理層
Chapter 3	データリンク層
Chapter 4	IPアドレス
Chapter 5	ネットワーク層
Chapter 6	ルーティング
Chapter 7	トランスポート層
Chapter 8	WANとインターネット
Chapter 9	アプリケーション層
Chapter 10	ネットワークセキュリティ
Chapter 11	無線LAN
Chapter 12	クラウドと仮想技術
Chapter 13	ネットワークの冗長化技術

■書誌情報



書名：図解でスッキリ ネットワークのきほんとしくみ

著者：左門至峰

発売日：2025年11月20日（木）

ページ数：256ページ

サイズ：A5判

定価：1,870円（本体1,700円＋税10%）

電子版価格：1,870円（本体1,700円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02325-8

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295023256>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1124101138>

■著者プロフィール

左門至峰（さもん・しほう）

ネットワークとセキュリティの専門家。執筆実績として、ネットワークスペシャリスト試験対策『ネスペ』シリーズ（技術評論社）、『FortiGateで始める 企業ネットワークセキュリティ』（日経BP社）、『Aruba無線LAN設定ガイド』（技術評論社）、『ストーリーで学ぶネットワークの基本』（インプレス社）、Webや雑誌での連載などがある。保有資格は、ネットワークスペシャリスト、情報処理安全確保支援士、CISSP、技術士（情報工学）、プロジェクトマネージャ、システム監査技術者、ITサービスマネージャなど多数。自身が原作の資格取得に関する映画『100万円の選択』が2026年2月公開予定。2025年10月よりラジオ大阪（OBC）で「女と男 市川×左門の『資格大好き！』」を放送開始。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。